児童生徒等の
安全確保にむけて

～西日本豪雨災害対応から～

坂町教育委員会
学 校 教 育 課

【本日の内容】

１　今までの防災訓練

２　坂町の災害時の状況

３　災害後の対応

４　今後に向けて

１　今までの防災訓練

- 坂町の避難訓練
  町民も学校も共に防災訓練
  町職員参集訓練
- 学校単位の避難訓練
- 「総合的な学習の時間」での防災学習
  ３年連続で地域の方々や児童を対象に実施
  今年度で4年目の予定だった・・・

坂中学校 「総合的な学習の時間」
防災学習～中学生が小学生へ～

２　坂町の災害時の状況

- 坂小学校エリア
- 小屋浦小学校エリア

坂小学校　正門

坂小学校　正門

坂小学校　体育館ステージ裏

坂小学校　保健室

坂小学校　ピロティ

坂小学校　体育倉庫

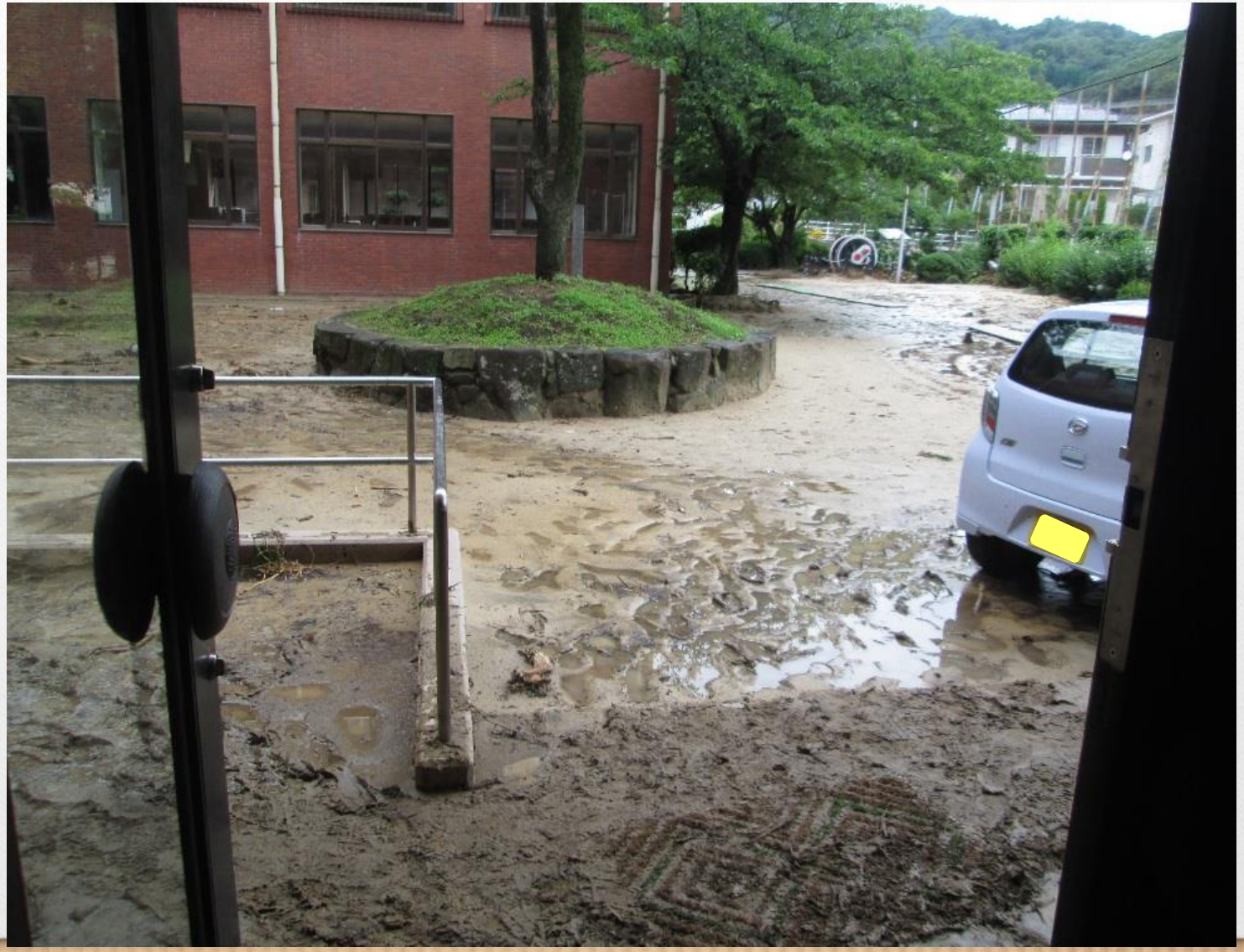
坂小学校　グラウンド

坂小学校　グラウンド

坂小学校　通学路

坂小学校　通学路

小屋浦小学校　玄関前



小屋浦小学校　体育館

小屋浦小学校　体育館

小屋浦小学校　プール

小屋浦小学校　保健室

小屋浦ふれあいセンター

小屋浦地区

小屋浦地区

小屋浦地区

小屋浦地区

小屋浦みみょう保育園

小屋浦小学校付近

呉線

水尻　　呉線・クレアライン

臨時送迎バス

３　災害後の対応

（１）安否確認

（２）学校再開に向けて

（３）再開後の学校で

３　災害後の対応

（１）安否確認

①電話連絡

②家庭訪問

→実態把握

①　電話等で連絡（1・2段階）

<u>メールによる把握</u>

（メールの返信のない家庭には電話連絡）

↓

児童の無事確認

<u>全児童へ電話連絡</u>

↓

児童の状況確認・所在確認

②　家庭訪問（3段階）

児童生徒の状況把握

- 担任が家庭訪問
- 職員で避難所訪問
- 夏季休業中　児童・生徒への巡回相談

（声をかけて話す中で）

３　災害後の対応

（２）学校再開にむけて

①学校の衛生管理

②通学路の安全

③心のケアの準備

３　災害後の対応

（２）学校再開にむけて

①学校の衛生管理

（ア）学校施設の消毒

（イ）土壌・水質検査

（ウ）粉塵・騒音対応

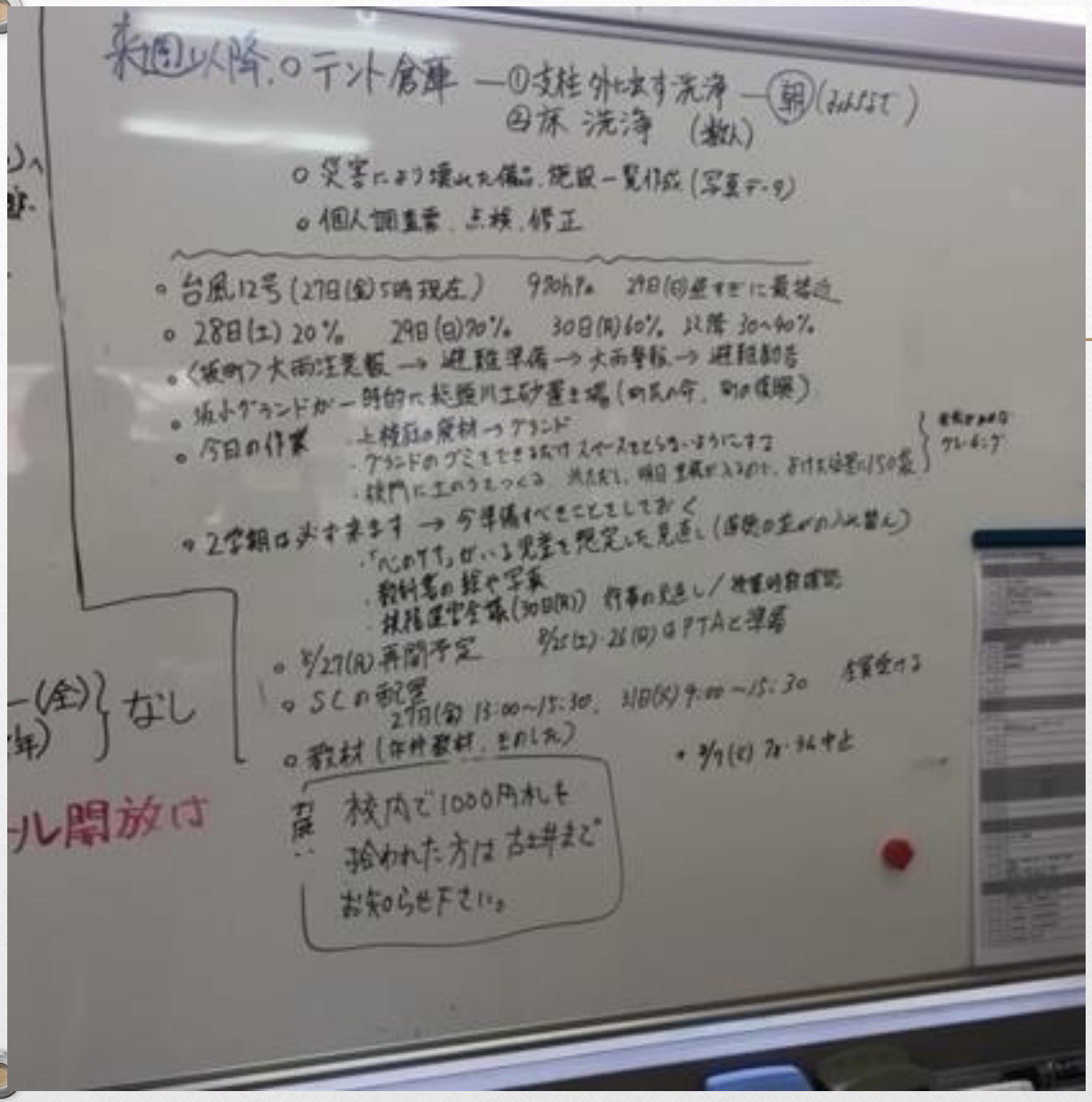
（ア） 学校施設の消毒

緊急派遣薬剤師、学校薬剤師による助言をもとに、校内消毒計画を作成し実施。

【実施方法】

・職員室のホワイトボードに掃除・消毒箇所等を記載し、日々更新。

・掃除の場面や学校生活について、消毒液の使い方についてまとめ、職員で共有。


来週以降。テント倉庫 —①支柱外に出す洗浄 —朝(みんなで)
②床 洗浄 (数人)
○災害により壊れた備品、破損一覧作成(写真データ)
○個人調査票、点検、修正
○台風12号(27日(金)5時現在) 930hPa 29日(日)までに最接近
○28日(土)20% 29日(日)70% 30日(月)60% 以降30~40%
○〈坂町〉大雨注意報 → 避難準備 → 大雨警報 → 避難勧告
○坂小グランドが一時的に総務川土砂置き場(町民の命、町の復興)
○今日の作業 ・上校庭の資材 → グランド
・グランドのゴミをできるだけスペースをとらないようにする
・校門に土のうをつくる 洗たく、明日業者が入るので、おけを総務に15の数
○2学期は来週からです → 今準備すべきことをしておく
・「心のケア」がいる児童を想定した見直し(保健の先生の入れ替え)
・教科書の数や写真
・校舎巡回全体(30日(月)) 行事の見直し/放課後教室
○9/27(月)再開予定 8/25(土)・26(日)はPTAと準備
○SCの配置 2月(金)13:00~15:30、31日(水)9:00~15:30 全員受ける
○教材(年外教材、きのした)
・9/7(土)学校中止
校内で1000円札を拾われた方は古井まで お知らせ下さい。
(全)
年)
なし
ル開放は

坂小
ホワイト
ボード

（イ） 水質検査･土壌検査

- 緊急派遣薬剤師による簡易水質検査

- 学校薬剤師による飲料水検査

通学路の安全点検

- 通学路点検
- 下校指導案作成

坂小学校　通学路

坂小学校　通学路

坂小学校　通学路

小屋浦小学校　通学路

小屋浦小学校　通学路

小屋浦小学校　通学路

（ウ）粉塵・騒音への対応

- 空調設備（町教委対応）

坂小学校　グラウンド

坂小学校　グラウンド

小屋浦小学校　グラウンド

３　災害後の対応

（２）学校再開にむけて

③心のケアの準備

（ア）児童生徒の実態把握

（イ）教職員の心ケア

（ウ）教職員研修

（ア）児童生徒の実態把握

～災害直後～

気になる児童生徒の抽出

・変化の見とれる様式の作成

（坂小はそのまま長期休業に入ったため未使用）

・表情・行動観察の強化

↓

気になることがあれば、生徒指導主事・養護教諭を中心に連携し、スクールカウンセラー（以下SC）につなぐ

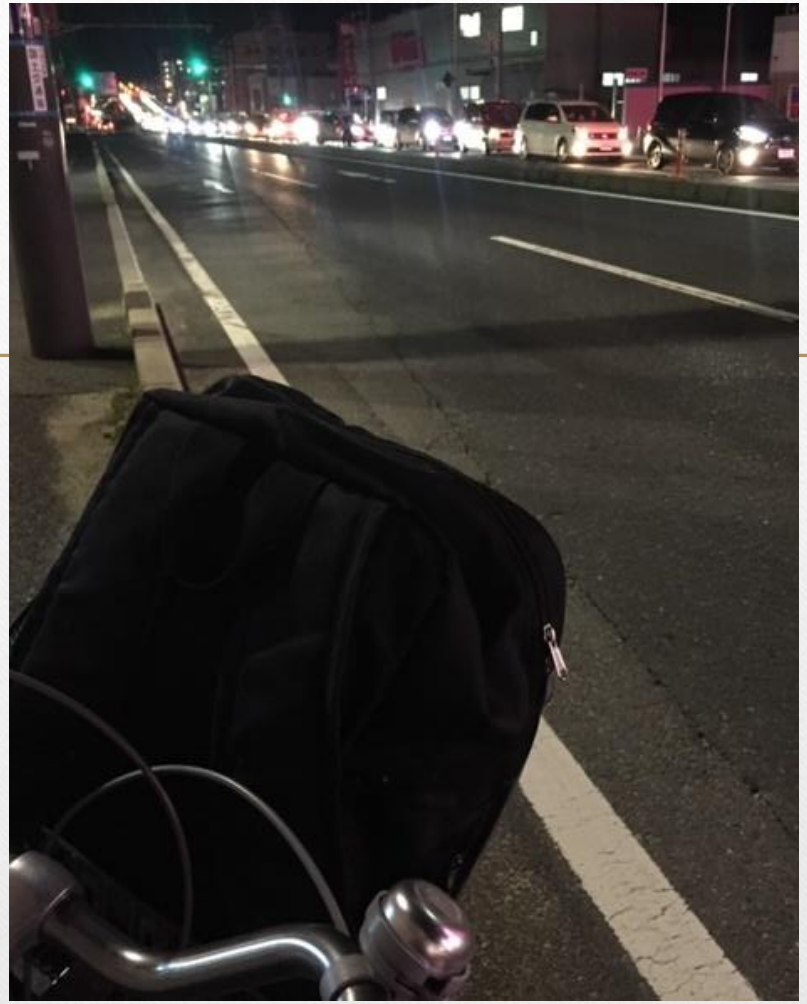
（イ） 教職員のケア

- 教職員全員カウンセリングを受ける。
- 教職員のメンタルヘルスチェック（県教委より）
- タッピングタッチによる癒しの時間の確保

通勤・・・渋滞による長時間通勤
作業・・・復旧作業
不安・・・児童生徒への対応

教職員によるボランティア活動

坂小学校職員による復旧作業



国道31号線の渋滞状況　7月10日22時16分

教職員は心の専門家へ相談

（ウ） 教職員の研修

【形式】

校内研修、講話、ランチミーティングなど

【内容】

- 児童とのかかわり方
- 災害後初めて子供たちと接するにあたり注意すること
- 心のケア・児童との関わり方・ストレス反応について
- リラクゼーションの法の実践
- 児童と個人面談する時のポイント　など

教職員が知りたいことは・・・

- 災害後に始めて子供たちと出会うときの心構え
- 気になる児童抽出の視点

３　災害後の対応

（３）再開後の学校で

①学校の衛生管理

②簡易給食

③遊び場の工夫

④心のケア

３　災害後の対応

（３）再開後の学校で

①学校の衛生管理

①学校の衛生管理

- 登下校時のマスク・手袋着用
- 登校後すぐにうがいの励行
- 登校時に靴の裏を洗う
- 掃除：拭き掃除のみ、ゴム手袋着用
  （共に使い捨て）
- 毎週金曜日の放課後、教職員による教室・特別教室の消毒

坂中学校　靴洗い場

坂中学校　再開日

支援物資の一時保管場所となっていた　体育館

３　災害後の対応

（３）再開後の学校で

②簡易給食

安全な給食を確実に

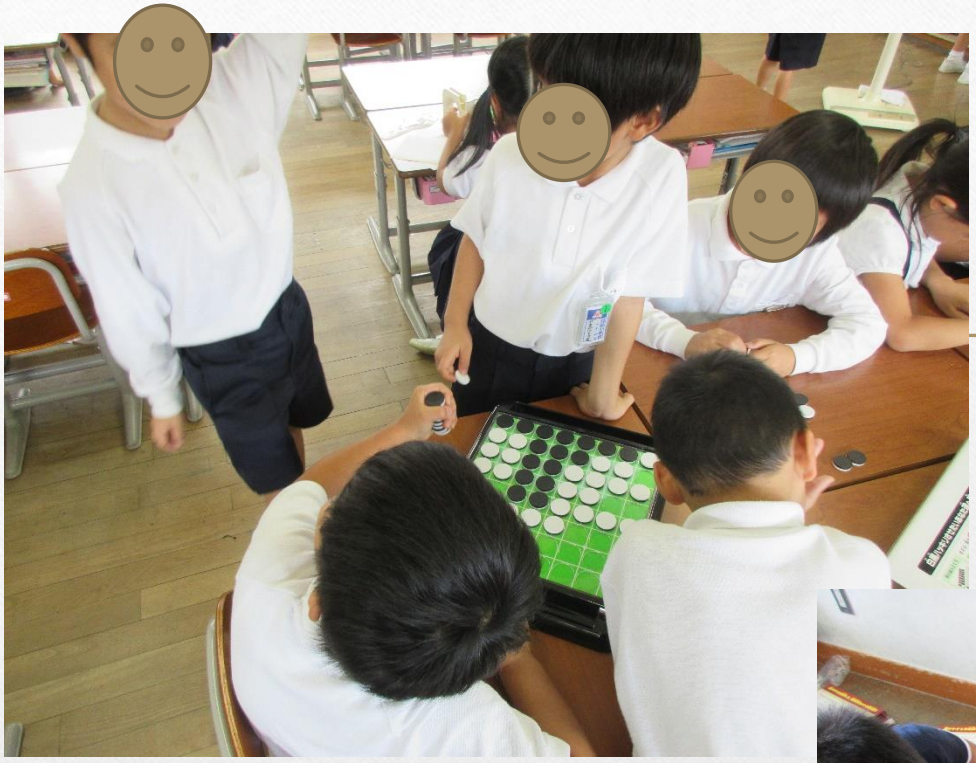
坂小学校　簡易給食

３　災害後の対応

（３）再開後の学校で

③遊びの工夫

安全な遊び場がない・・・



坂小学校の工夫

３　災害後の対応

（３）再開後の学校で

④心のケア

～カウンセラーの緊急派遣のおかげで～

（ア）アンケート

（イ）集団カウンセリング

（ウ）個別のカウンセリング

（エ）保護者へのケア

（オ）カウンセラーによる啓発

（ア）アンケート　～学校再開後～

全児童生徒の実態把握

「心と体の振り返りシート」「健康アンケート」作成・実施

【対象】 児童・生徒・保護者

【実施時期】 7月　11月～12月

・質問項目・対象者の絞り込み（生徒指導部やSCと連携）

必要以上に災害を思い出させない工夫

養護教諭によるコーディネート、担任、保護者負担軽減

アンケートを参考にした抽出（点数化）

（ア）アンケート　～学校再開後～

要支援・要観察児童生徒の抽出

スクールカウンセラーの助言のもと・・・

「児童生徒の個別面談」を担任が実施

【対象】 全児童

※　希望をとり、気になる児童生徒について保護者連携を行ったり、2回目の面談を行ったりした学校もあった。

（イ）集団カウンセリング

- 全クラスでのリラックス法指導
- 全クラスに入り児童の様子を観察（SC中心に）
- 心のケア紙芝居（１～5年生）
- 音楽セラピー
- レクリエーション
- リラックス体操
- タッピングタッチ実施

小屋浦小学校　リラックス体操

心のケア紙芝居の読み聞かせ

（ウ）個別カウンセリング（A校）

【対象】

　アンケートや家庭の様子、担任の個人面談など、教職員や本人からの要望があった児童

【事後の対応】

- SCと担任や関係職員と情報を共有し、対応を考えていく。
- 次のカウンセリングの必要性を判断するため生徒指導部や管理職と協議。
- 「心と体の個人記録」の作成（聞き取り内容等を随時記入）
- 気になる児童生徒１人１人の変容や状況を見守っていくために、記録に残す（データ管理）

（ウ）個別カウンセリング（B校）

【対象】

本人や保護者から要望があった児童

・担任、養護教諭が児童全員にカウンセリングの希望を確認。

・アンケート結果が気になった家庭には電話連絡で保護者にカウンセリング希望を確認。

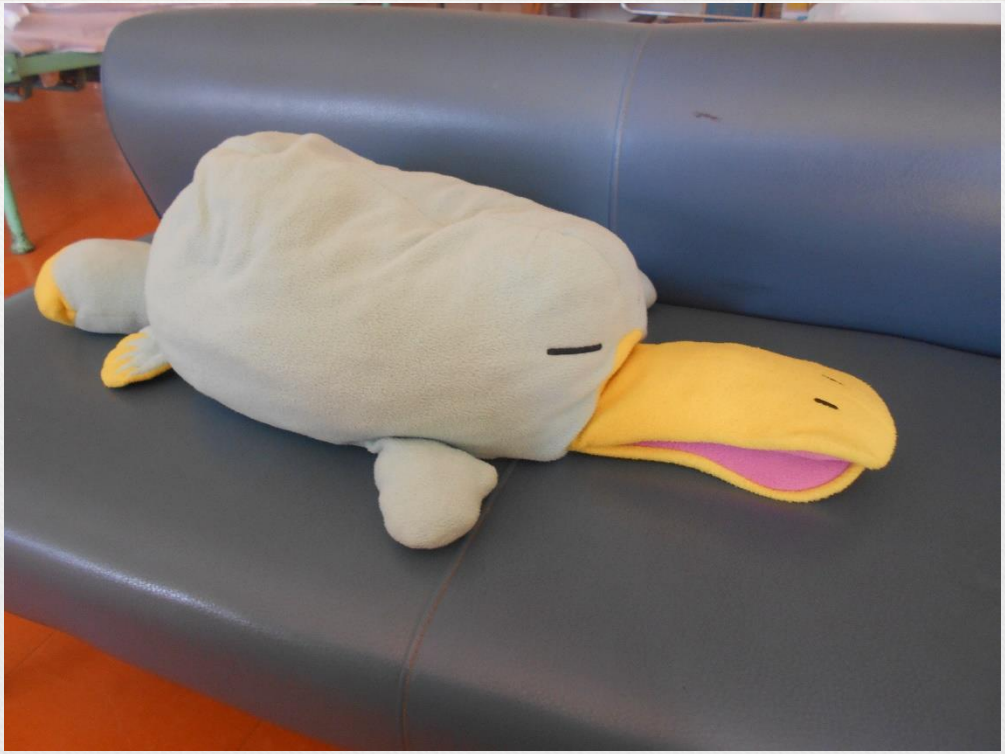
・ほけんだよりや一斉メールでＳＣ来校日を発信し、常時カウンセリング予約を受付

【事後の対応】

気になる児童の様子は記録し、教職員とＳＣで情報を共有しながら対応を考えていった。

（対応例：むぎゅむぎゅタイムの設定）

むぎゅむぎゅタイム



（エ） 保護者のケア

- 学校メールにより、カウンセリングが受けられることを周知し、予約を受け付ける。
- 学校に来校している保護者に声をかけ、その場で傾聴。（職員・SC）

⇒各校数名程度の希望があった

⇒現在も継続的にカウンセリング希望あり

「こやっ子よろず相談室」

- カウンセリングルーム等、校内3箇所に「こやっ子よろず相談室」という看板を設置。

【対象】 児童、保護者、地域の方

（オ）保護者への啓発

- スクールカウンセラーだよりの配布
- カウンセリング情報等、随時一斉メール配信

スクールカウンセラーミーティング（毎週木曜日）

- ミーティング内容について、県単位で引継ぎを行っていただいた。
- 各校の実態をSCで共有（町教委対応）

【課題】
～坂町養護教諭の声より～

〇カウンセリング対象者の選定の難しさ（何か目安が欲しい）

　対象者はアンケートから希望があった児童および担任が個人面談後に　カウンセリングが必要と思われる児童とした。要支援の児童を見極める難しさ。変化に気づく担任の視点に頼る。

〇緊急支援カウンセラーの活用方法

・毎回交代するため、継続的なカウンセリングが難しい。

・次のSCへのつなぎ方、情報提供のための時間の確保。

・SCファイルを活用し、児童の現状やSC活動状況は見られるが、実際には養護教諭が説明することが多く、時間をとられた。

- 中・長期的なケアをどうすすめていくか。次年度SC配置があるか不安。
- 健康アンケートをどのくらいのペースで実施するか。（7月・9月・1月）

【養護教諭のつぶやき】

- まず何からすべきか、今何をしたらよいのか。
  日々手探りで対応に自信がもてなかった。

【スクールカウンセラーの緊急派遣により】

- 災害後の心のケアに関する校内研修ができた。
  参考資料配布（災害後の対応の仕方やリラクゼーションなど）
  児童や保護者への対応の参考になった。
- 専門的な意見を聞きながら、適切な対応ができた。
- 教職員も困った時にすぐに専門家に相談できるため、安心感があった。
- アンケートの実施に伴う児童生徒への対応等のアドバイスが
  大変参考になった。

【養護教諭として必要なスキルとは？】
～坂町養護教諭の声より～

- 人と人をつなぐ、コーディネーター的役割（職員、保護者、SC、薬剤師、災害支援医療機関職員等）
- 現在の状況を的確に判断できる情報収集力（取捨選択、判断）
- 情報を発信する力
- 今後、想定される課題について対応できる力、見通す力
- 児童の心の寄り添い、冷静に表情・行動観察ができる力
- 心のケア、衛生管理、安全管理における専門的な知識の習得

４　今後に向けて

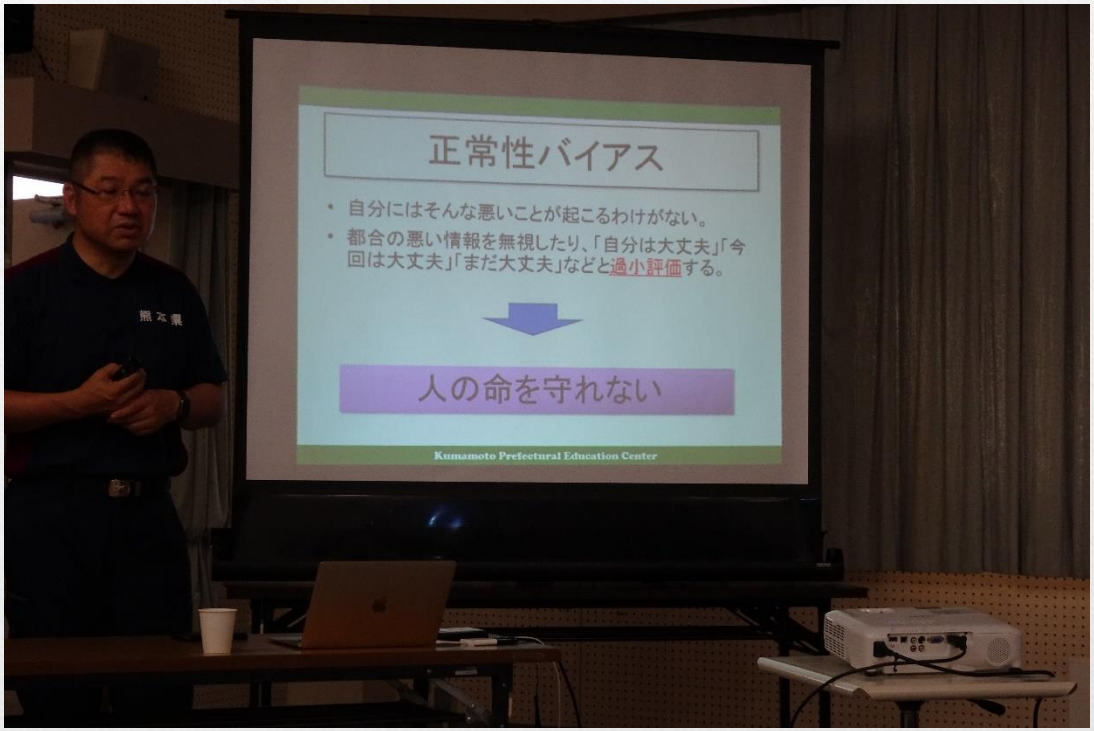
- 自助　　共助　　公助　　の視点で
- 多くの支援・援助に支えられて
- 「自分の命を守ることができる児童生徒」に育てるための実践的な防災教育とは、どのようなことが考えられるか・・・。

熊本からの支援

熊本からの支援

熊本からの支援

熊本からの支援


正常性バイアス
自分にはそんな悪いことが起こるわけがない。
都合の悪い情報を無視したり、「自分は大丈夫」「今回は大丈夫」「まだ大丈夫」などと過小評価する。
人の命を守れない
Kumamoto Prefectural Education Center

熊本からの支援

全国各地からの派遣

全国各地からの派遣

全国各地からの派遣

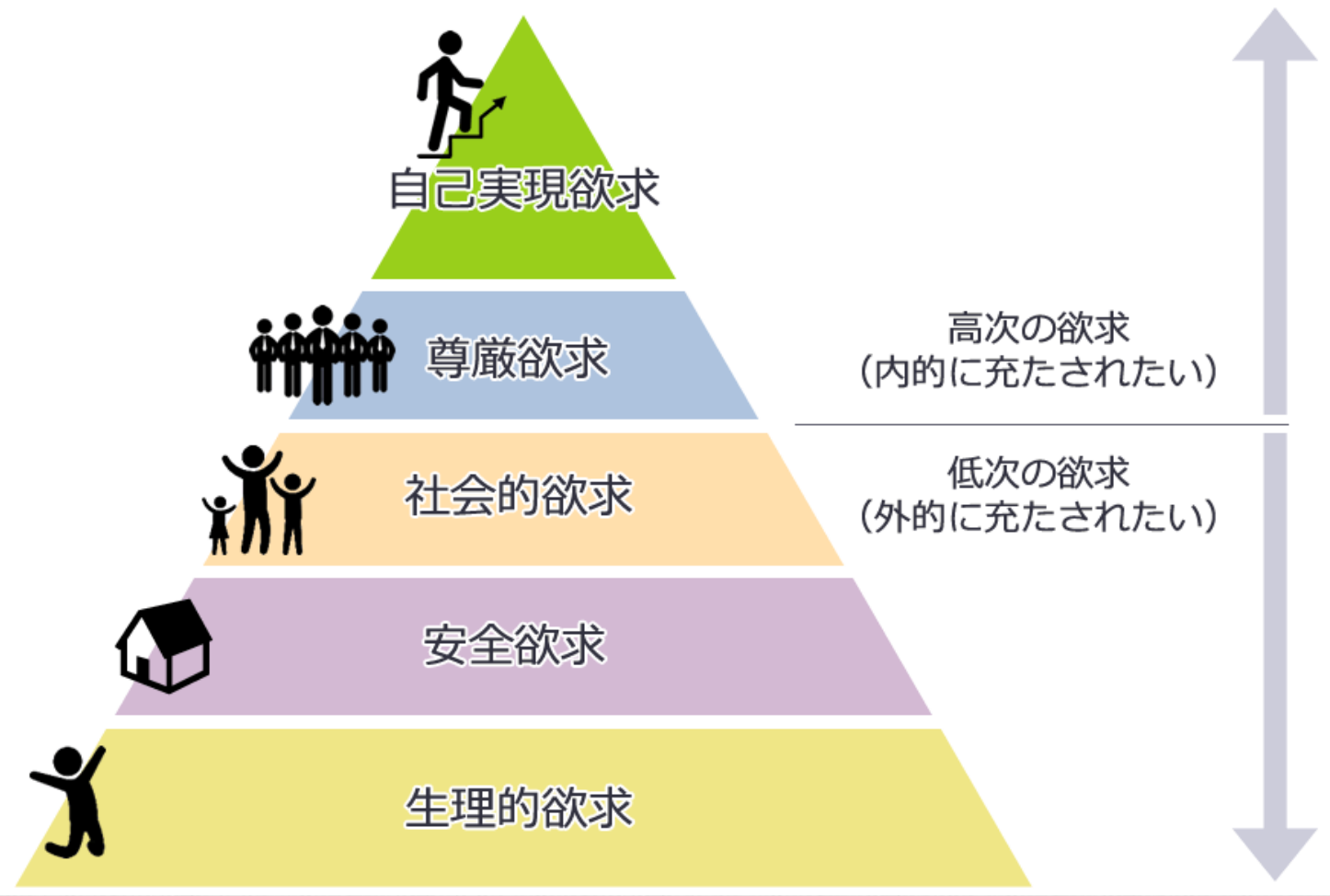
ボランティアの力

ボランティアの力

笑顔を生む全国からの支援

AJINOMOTO

マズローの欲求段階


自己実現欲求
尊厳欲求
社会的欲求
安全欲求
生理的欲求
高次の欲求
（内的に充たされたい）
低次の欲求
（外的に充たされたい）

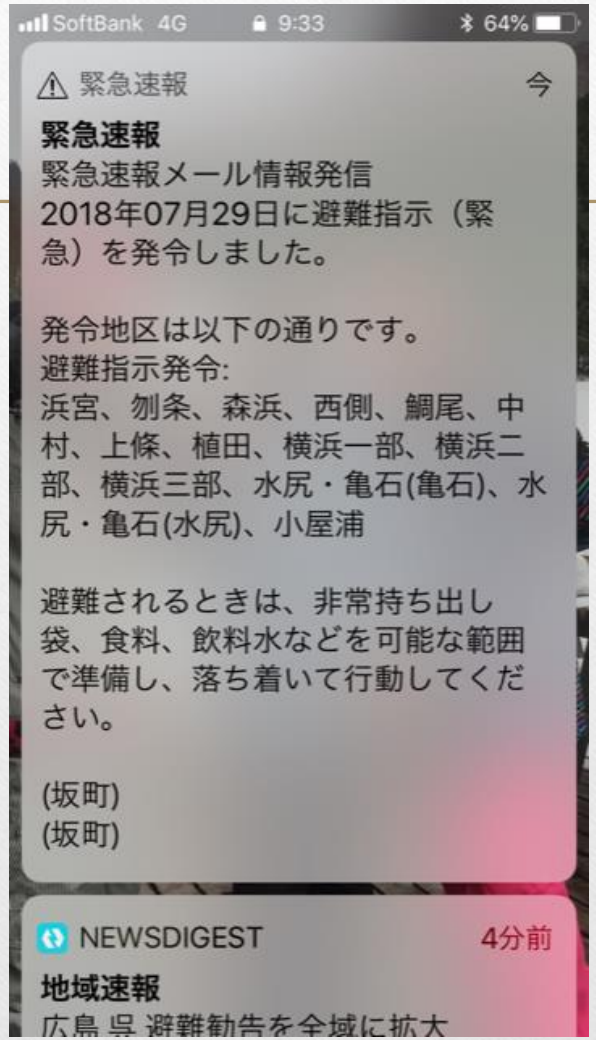
マズローの欲求段階

- 第一階層の**「生理的欲求」**は、生きていくための基本的・本能的な欲求（食べたい、飲みたい、寝たいなど）。この欲求がある程度満たされると次の階層「安全欲求」を求めるようになります。
- 第二階層の**「安全欲求」**には、危機を回避したい、安全・安心な暮らしがしたい（雨風をしのぐ家・健康など）という欲求が含まれます。
- この「安全欲求」が満たされると、次の階層である**「社会的欲求（帰属欲求）」**（集団に属したり、仲間が欲しくなったり）を求めるようにます。この欲求が満たされない時、人は孤独感や社会的不安を感じやすくなると言われます。

坂中学校卒業生がボランティアとして活躍

坂中学校卒業生が消防団として活躍

その時、どう動くか


SoftBank 4G
9:33
64%
緊急速報
今
緊急速報
緊急速報メール情報発信
2018年07月29日に避難指示（緊急）を発令しました。
発令地区は以下の通りです。
避難指示発令:
浜宮、刎条、森浜、西側、鯛尾、中村、上條、植田、横浜一部、横浜二部、横浜三部、水尻・亀石(亀石)、水尻・亀石(水尻)、小屋浦
避難されるときは、非常持ち出し袋、食料、飲料水などを可能な範囲で準備し、落ち着いて行動してください。
(坂町)
(坂町)
NEWSDIGEST
4分前
地域速報